



社会福祉法人 やながせ福祉会

通 所 介 護

勝原第二デイサービスセンター

平成 28 年度 事業目標

「住み慣れた自宅や地域での生活を支援する為、充実した機能訓練を実施し、身体機能の低下を予防する。また、その人らしい生活を継続するため、個人のニーズを把握し、身体・精神的に意欲の向上を図る。」

自宅では、構造的に段差等が多く、身体機能の低下により転倒しやすい環境から個々の利用者に応じた機能訓練を提案・実施し、また、創造活動も充実していくことで、心身ともに健やかな自宅での生活がかなう支援を目指す。

- (1) 歩行訓練やゴムボール等を利用した上下肢の筋力トレーニングを引き継ぎ実施し、身体機能の維持・向上を図るとともに、また、マット運動も取り入れ、体幹を鍛え、バランス感覚を養っていくことで、転倒予防に努める。
- (2) メリハリのある生活を過ごす為にも、季節に応じたレクリエーションを行い、精神的に安定した自宅での生活を目指す。また、四季折々のドライブを継続して実施していくことで、気分転換を図り、さらにちぎり絵等の創造活動を提案し、出来上がった作品を展示会に出品していくことで、意欲の維持・向上を目指す。

平成 28 年度 事業報告

- (1) 利用者の中には膝痛や腰痛を訴えられる方が多く、背筋や腹筋などの筋力トレーニングと共に、畳での生活など日常の生活行為を意識した床からの立ち上がり運動を行ったことにより、歩行などに必要となる体幹を鍛える運動にもつながり、相乗効果が得られた。利用者からも「歩行時の膝の痛みがましになった」などの言葉が聞かれるなど昨年より取り入れたマット運動を上下肢の筋力トレーニングにあわせて、より充実させることができた。そのため、今後も上下肢筋力トレーニングやマット運動など取り入れた機能訓練の充実を図っていきたい。
- (2) 桜やつつじ、紫陽花、ひまわり、コスモスなど四季を彩る花々の観賞や夏季の森林浴、晩秋の紅葉狩りなど季節の移り変わりを感じられる野外活動を実施したとともに施設内においても縁日やクリスマス会、鬼の面作りなど、四季を意識した年間行事に力を注いだ。加えて、創作活動として、ちぎり絵も継続して取りくみ、指先を刺激する事により、認知症の予防と脳の活性化を図った。さらに他者との共同作品だけでなく、個別の作品も取り入れたことで、利用者一人ひとりの好みや状態に応じた作品作りが叶い、満足度と達成感が高まり、好評の言葉を得ている。そして、完成した作品は、イーグレ姫路にて催された社会福祉施設利用者作品展覧会に出展し、見学に出かけたことによって、他事業所の利用者の作品を見て、刺激を受け、更なる創作意欲の向上につながったことを踏まえ、今後も取り組んでいきたい。

平成 28 年度 事業運営総括

1. 利用実績について

大きな問題や事故もなく、運営できたが、利用率は平成 27 年度が 83%に対して、平成 28 年度は 80.9%と 2.1%減少している。特に、9 月までで 79.8%と大きく落ち込んだ。その原因としては、施設入所など利用者の入れ替わり等から 22 名の方が中止となっていたことがあげられる。

これを受け、下半期の計画として、内部サービスの充実と居宅介護支援事業所等へのアピール強化により新規利用者を 14 名増員し、月間の利用人数を 100 名にする計画を立てた。

計画の実現に向けた取り組みとして、利用者の方々が、くつろぎつつ、時間を過ごしていただけるようにソファと仕切りカーテンを設置した。また、新たな創作活動として、陶芸教室を始めた。さらに外部への広報活動として、居宅介護支援事業所等を訪問し、現在行っている創作活動や趣味活動、野外活動等の取り組み内容を説明した。その結果として、広報活動等が実を結び、下半期には、新規利用者が 17 名増員し、計画した 100 名には届かなかったものの、平均稼働率は 82%まで回復し、3 月の利用者は 98 名と年度内で最も高い月間利用者になった。

次年度は、利用率 85%を目標にさらに、活動の強化を図っていきたい。

行事報告

	行 事	レクリエーション及び体操
4月	野外活動 ・観桜(夢前河川敷) ・八重桜観賞(鹿ヶ壺) ゲーム大会	レクリエーション ・お手玉ゲーム ・ボール送りゲーム 体 操 ・メダカの学校・リンゴの唄・北国の春
5月	野外活動 ・つつじ観賞(名古屋) 下太田花祭り見学 ゲーム大会	レクリエーション ・輪投げゲーム ・カラオケ発表会 体操 ・メダカの学校・リンゴの唄・北国の春
6月	野外活動 ・紫陽花観賞(世界の梅公園) ゲーム大会	レクリエーション ・玉入れゲーム ・ソーラン節体操 ・ピン倒しゲーム 体操 ・メダカの学校・リンゴの唄・北国の春
7月	野外活動 ・ひまわり観賞(佐用町) 七夕会 ゲーム大会	レクリエーション ・コロコロゲーム ・お手玉ゲーム 体操 ・メダカの学校・リンゴの唄・北国の春
8月	野外活動 ・森林浴、納涼(鹿ヶ壺) 第二デイゆかた祭り(盆踊り・縁日) ゲーム大会	レクリエーション ・的当て・輪投げ・射的ゲーム ・すいか割りゲーム 体操 ・メダカの学校・リンゴの唄・北国の春
9月	野外活動 ・手柄山散策 ゲーム大会 岩波右扇会との交流	レクリエーション ・早押しゲーム ・ボーリング大会 体操 ・メダカの学校・リンゴの唄・北国の春
10月	野外活動 ・コスモス観賞(たつの市) ・菊花展(姫路城) 秋の大運動会 吉備神社(下太田)秋祭り見学 ゲーム大会	レクリエーション ・輪っか送りゲーム ・お手玉ゲーム 体操 ・メダカの学校・リンゴの唄・北国の春

	行 事	レクリエーション及び体操
11月	野外活動 ・紅葉狩り ・菊花展(龍野公園) ふくろうの会との交流 ゲーム大会	レクリエーション ・相性ゲーム ・ボール運びゲーム 体操 ・メダカの学校・リンゴの唄・北国の春
12月	野外活動 ・干支のわら細工見学(安志稻荷神社) クリスマス会 カラオケ大会 ゲーム大会	レクリエーション ・変形ボーリングゲーム ・お手玉運びゲーム 体操 ・メダカの学校・リンゴの唄・北国の春
1月	初詣 ・魚吹八幡神社・総社 書き初め大会 カルタ取り大会 ゲーム大会 鬼の面作り	レクリエーション ・買い物ゲーム ・伝達ゲーム 体操 ・メダカの学校・リンゴの唄・北国の春
2月	野外活動 ・梅花観賞(世界の梅公園、曾根天満宮) 豆まき ゲーム大会	レクリエーション ・伝達ゲーム ・買い物ゲーム ・カーリングゲーム ・棒倒しゲーム 体操 ・メダカの学校・リンゴの唄・北国の春
3月	野外活動 ・菜の花観賞(御津) ・ひな飾り見学(たつの市・鹿ヶ壺) ゲーム大会	レクリエーション ・カーリングゲーム ・玉落としゲーム ・輪投げ大会 体操 ・メダカの学校・リンゴの唄・北国の春

	行 事	趣味・生きがい活動	レクリエーション及び体操
定期的	お誕生日会 カレンダー作り 身体測定(毎月) 体力測定(3ヶ月毎) 音楽交流会 (ギター演奏・第一興商) 作品展示会 (イーグレ姫路)	ちぎり絵 カラオケ 塗り絵 将棋 麻雀 陶芸 作品作り 習字教室	野外活動 リズム体操 歩行訓練 マット運動 ボール体操 ゴムチューブ運動 下肢筋力トレーニング ゲーム大会

要介護度の状況 《平均要介護度 介護 1.31 》

平成29年3月31日 現在

	人 数	割 合
要支援1	15	15%
要支援2	21	21%
要介護1	29	31%
要介護2	19	19%
要介護3	10	10%
要介護4	2	2%
要介護5	2	2%
合 計	98	100%

月間利用実績（人数）

平成28年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
要支援1	15	15	17	17	17	16	18	16	15	14	13	15	188
要支援2	27	26	26	25	25	22	22	22	23	21	21	21	281
要介護1	24	24	24	24	22	24	23	27	27	23	25	29	296
要介護2	15	16	16	16	17	16	15	18	17	17	16	19	198
要介護3	6	6	6	5	6	7	7	7	8	8	8	10	84
要介護4	4	4	6	6	4	4	3	3	3	3	3	2	45
要介護5	1	0	1	0	0	0	1	2	2	2	2	2	13
合 計	92	91	96	93	91	89	89	95	95	88	88	98	1,105

月間利用実績（延べ人数） 《稼働率 80.9%》

平成28年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
要支援1	63	65	75	71	72	69	70	69	64	56	51	72	797
要支援2	198	183	185	180	181	165	161	175	155	145	151	169	2,048
要介護1	289	291	281	287	290	316	308	303	293	281	290	336	3,565
要介護2	184	183	187	187	196	185	192	197	172	176	174	207	2,240
要介護3	59	69	63	57	73	81	71	84	73	80	79	86	875
要介護4	30	26	43	41	40	35	30	30	32	32	25	28	392
要介護5	6	0	3	0	0	0	4	6	7	6	7	8	47
合 計	829	817	837	823	852	851	836	864	796	776	777	906	9,964

開所日数

平成28年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
日 数	26	26	26	26	27	26	26	26	24	24	24	27	308

曜日別延べ利用実績

平成28年度

	月	火	水	木	金	土	合計
人数	1865	1758	1724	1538	1563	1516	9,964
割合	19%	18%	17%	15%	16%	15%	100%

1週当り平均利用人員

平成28年度

	月	火	水	木	金	土	合計	1日平均
人数	35.6	34.2	33.8	30.2	30.6	29.7	194.1	32.35
割合	18%	18%	17%	16%	16%	15%	100%	—

回数別利用人員

平成29年3月31日 現在

	1回	2回	3回	4回	5回	6回	合計
人数	22	44	16	11	4	1	98
割合	22%	46%	16%	11%	4%	1%	100%

保険者の状況

平成29年3月31日 現在

保険者	男	女	計
姫路市	18	68	86
太子町	5	5	10
たつの市	1	0	1
佐用郡	1	0	1
合計	25	73	98

年齢別構成状況

平成29年3月31日 現在

	65歳未満	65歳以上 から 70歳未満	70歳以上 から 75歳未満	75歳以上 から 80歳未満	80歳以上 から 85歳未満	85歳以上 から 90歳未満	90歳以上	合計
男	0	1	1	3	8	8	4	25
女	0	2	4	3	15	24	25	73
全体	0	3	5	6	23	32	29	98

日常生活状況

区 分		実数	割合
歩行	自立歩行	50	51.0%
	杖等の歩行補助器使用	40	40.8%
	車椅子使用	8	8.2%
食事	自分で可能	93	94.9%
	一部介助	5	5.1%
	全部介助	0	0.0%
入浴	自分で可能	69	70.4%
	一部介助	28	28.6%
	全部介助	1	1.0%
着替	自分で可能	69	70.4%
	一部介助	28	28.6%
	全部介助	1	1.0%

平成29年3月31日 現在

区 分		実数	割合	
排泄	トイレ	自分で可能	71	72.4%
		介助	8	8.2%
	おむつ使用		1	1.0%
	パッド使用		18	18.4%
対象人数			98	

職員間の内部研修の実施状況

研修名	研修内容	参加職種	参加人数	期間	講師(職・氏名)
理念・人権研修	理念・倫理・守秘義務について	全職種	16名	4月1日	管理者・生活相談員
安全管理研修	送迎車のリフト操作におけるリスクについて	全職種	13名	4月23日	リスクマネジメント委員会
接遇研修	電話のかけ方・受け方について	全職種	10名	5月21日	接遇委員会
感染対策研修	食中毒の二次感染や手洗いの方法について	全職種	8名	6月25日	感染委員会
緊急対応研修	心肺蘇生法とAEDの使用方法について	全職種	11名	8月27日	環境・安全委員会
接遇研修	送迎時のリスクやマナーについて	全職種	10名	9月24日	接遇委員会
感染対策研修	ノロウイルスの症状と対策について	全職種	16名	10月29日	感染委員会
安全対策研修	避難時の対応と電話連絡による通報の仕方について	全職種	16名	11月26日	環境・安全委員会
食事研修	食事中の姿勢や誤嚥について	全職種	16名	12月24日	リスクマネジメント委員会
接遇研修	アンケート集計結果を踏まえた仕事に取り組み姿勢について	全職種	16名	1月28日	接遇委員会
虐待防止研修	虐待の種類や原因について	全職種	16名	2月25日	リスクマネジメント委員会
感染対策研修	デング熱の感染経路や予防法について	全職種	16名	3月25日	感染委員会

職員の外部研修の受講状況

研修名	研修内容	参加職種	参加人員	日付	期間	場所	研修結果の報告方法
姫路市老人福祉施設連盟 新人職員研修会	「福祉サービスの心構えについて」	介護職員	1名	5月13日	1日間	姫路市商工会議所	口頭・復命
兵庫県老人福祉事業協会 認知症機能訓練(4DAS)基礎研修	4DASの進め方(DASCの演習)	介護職員	1名	7月11日	2日間	兵庫福祉センター	口頭・復命
姫路市老人福祉施設連盟 施設長研修会	社会福祉法人制度改革について	管理者	1名	8月22日	1日間	ホテル日航姫路	口頭・復命
兵庫県老人福祉事業協会 介護の日記念行事	介護の日記念イベント	介護職員	1名	11月11日	1日間	ホテルクラウンパレス神戸	口頭・復命
姫路市老人福祉施設連盟 職員研修会	「メンタルマネジメントと自己覚知」	管理者	1名	11月15日	1日間	姫路市医師会館	口頭・復命
兵庫県老人福祉事業協会ダイ部会研修	「初動対応に強い、考えるべき記録の書き方」	介護職員	1名	11月25日	1日間	兵庫福祉センター	口頭・復命
兵庫県老人福祉事業協会ダイ部会研修	「地域支援事業」	管理者	1名	2月9日	1日間	兵庫福祉センター	口頭・復命
近畿老人福祉施設施設長研修会	「高齢者福祉の将来像を探る」	管理者	1名	2月26日	2日間	ホテル日航奈良	口頭・復命

避難訓練

実施日	訓練種目	訓練内容
4月1日	地震による火災・警報 通報訓練	地震発生時の火災時における避難訓練の流れ 通報の流れの確認
5月1日	地震による火災・警報 通報訓練	地震発生時の火災時における避難訓練の流れ 通報の流れの確認
6月1日	地震による火災・警報 通報訓練	地震発生時の火災時における避難訓練の流れ 通報の流れの確認
7月1日	地震による火災・警報 通報訓練	地震発生時の火災時における避難訓練の流れ 通報の流れの確認
8月1日	地震による火災・警報 通報訓練	地震発生時の火災時における避難訓練の流れ 通報の流れの確認
9月1日	地震による火災・警報 通報訓練	地震発生時の火災時における避難訓練の流れ 通報の流れの確認
10月1日	地震による火災・警報 通報訓練	地震発生時の火災時における避難訓練の流れ 通報の流れの確認
11月1日	地震による火災・警報 通報訓練	地震発生時の火災時における避難訓練の流れ 通報の流れの確認
12月1日	地震による火災・警報 通報訓練	地震発生時の火災時における避難訓練の流れ 通報の流れの確認
1月4日	地震による火災・警報 通報訓練	地震発生時の火災時における避難訓練の流れ 通報の流れの確認
2月1日	地震による火災・警報 通報訓練	地震発生時の火災時における避難訓練の流れ 通報の流れの確認
3月1日	地震による火災・警報 通報訓練	地震発生時の火災時における避難訓練の流れ 通報の流れの確認

苦情対応

受付日	苦情内容	解決方法
平成 28 年 7 月 28 日	<p>「運転中携帯電話の使用について」</p> <p>匿名にて、「携帯電話を使用しながらナンバー82-97 のやながせ福祉会の車が走行している」と法人本部に申し出がある。</p>	<p>① 該当介護職員には管理者から理由の有無に関わらず、厳重に注意する。</p> <p>② 朝礼にて、運転中に電話を使用しなければならなくなった場合は、ハザードランプを点灯させ、迷惑のかかわない場所に停車した後、発信操作を行うように全職員に注意喚起する。</p> <p>③ 日々、交通ルールやマナーを遵守した安全運転を心がけるように注意喚起する。</p>
平成 28 年 9 月 25 日	<p>「介護職員の対応について」</p> <p>ケアマネジャーより「私にだけ冷たい態度をとる職員がいる」と話す利用者があり、利用者本人は匿名を希望し、該当職員の名前も口にされなかったため、接遇等対応に関して、改善の申し出がある。</p>	<p>① 該当職員が特定できなかったことを受け、朝礼にて、利用者1人ひとりにいやわりと思いやりのある対応を心がけるように注意喚起する。</p> <p>② ケアマネジャーには、各職員に注意喚起し、対応の改善を図ることを約束し、担当利用者への説明を依頼する。</p> <p>③ 月日の経過とともに意識が低下する人の習性を踏まえ、ケアマネジャーには、事業所も定期的に注意喚起を行うが、不適切な対応があれば連絡してほしいことなど牽制体制を依頼する。</p>
平成 28 年 11 月 2 日	<p>「洗濯物の不備について」</p> <p>自宅に送った後、家人より「入浴時に着替えた衣類の中に紙パンツが入っており、気づかずに洗濯してしまい、紙パンツが破れ、大変なことになった」との申し出がある。</p> <p>加えて、「これまでは予備の紙パンツは汚れ物とは別にするなどの配慮があったのにこんなことは初めて」と憤慨されつつ、話される。</p>	<p>① 管理者が電話にて不適な対応と迷惑をかけたことに対し、謝罪する。</p> <p>② 原因を解明し、今後、同じことを繰り返さないように善処することを約束すると理解が得られた。</p> <p>③ 後日、生活相談員が自宅を訪問し、再発防止策として、入浴時に汚れていた物はビニール袋に入れ、返却することを説明し、陳謝する。</p>

受付日	苦情内容	解決方法
平成 29 年 3 月 31 日	<p>「行事時の対応について」</p> <p>クリスマスの催して行った仮装カラオケ大会の写真を利用者に進呈したところ、ケアマネジャーより不適切で、不愉快との言葉を家族から聞いているとの申し出がある。</p>	<p>① 管理者が電話にて家族に、恒例の催しとはいえ、行き過ぎた不適切な対応であったことと時間が経ってからの連絡になったことを謝罪する。</p> <p>② 後日、管理者が自宅を訪問し、本人や家族の気持ちを察することなく、職員本位で仮装し、行事として、進行したことを陳謝する。</p> <p>③ 今後、同様の行事を催す時には、本人や家族に意向を伺ってから、進行することを約束すると理解が得られた。</p>

事故対応

発生日	事故内容	事故対策
平成 28 年 7 月 8 日	<p>「公用車の物損」</p> <p>送迎時、対向車を避けようとハンドル操作をした時にガードレールに左側面の後部が接触し、30cm 程度損傷する。</p>	<p>① 進路を変更する際は、目視やミラー等で後方を確認しつつ、慎重に操作する。</p> <p>② 車幅間隔を身につけ、ゆとりある運転を心がけ、ハンドル操作を行う。</p>
平成 28 年 8 月 27 日	<p>「持参のバスタオル紛失」</p> <p>送迎時に利用者から前回、持参したバスタオルが入っていなかったとの話がある。</p> <p>結果として、脱衣場など考えられる場所を探すが発見できなかったため、利用者に謝罪し、バスタオルを弁償した。</p>	<p>① 入浴時には利用者の荷物を個別のカゴに入れ、他者の荷物と混合しないようにルール化し、声だし確認を行うなど職員間で周知徹底を図る。</p> <p>② バスタオルや着替えた衣類は記入してある名前とカバンにつけている名札を確認しつつ、カバンの中に入れる。</p>
平成 28 年 10 月 17 日	<p>「左足靭帯一部断絶」</p> <p>公用車（ハイエース）に同乗していた介護職員が、ドアを開け、ステップを活用せずに降りた時に、左足靭帯を一部断絶する。</p>	<p>① 地面からの段差が高く、怪我など危険性を回避するために車にステップが設置され、階段状になっている構造の意図を各職員に説明する。</p> <p>② 乗降時には踏み外さないように慌てず、落ち着いて行動するように各職員に注意喚起を行う。</p>

発生日	事故内容	事故対策
平成 29 年 2 月 27 日	<p>「公用車の物損」</p> <p>送迎時、狭小な道路で、電柱にサイドミラーを当て、ミラーフレームを破損する。</p>	<p>① 送迎時には、少し早めに出発し、心に余裕を持った運転を心がける。</p> <p>② 車幅間隔を身につけ、道幅が狭い住宅地では、目視で左右を確認しつつ、慎重に操作する。</p> <p>③ 接触しそうな場合は、前進せず、後進操作を行う。</p>
平成 29 年 3 月 10 日	<p>「公用車の物損」</p> <p>野外活動に向かう道中、太子町太田郵便局付近の狭小な町道を走行し、右折しようとした時に、ブロック塀に右側面が当たり、損傷する。</p>	<p>① 抜け道として、住宅地に進入せず、幹線道路を走行する。</p> <p>② 車幅、道路脇の設置物等を確認してからハンドル操作を行う。</p> <p>③ 車幅間隔を身につけ、ミラーで確認しつつ、慎重に操作する。</p> <p>④ 接触しそうな場合は、前進せず、後進操作を行う。</p>